

有害プランクトン情報

(令和7年度 - No. 6)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターでは、プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、東京湾で有害プランクトンの出現状況調査を行っています。今回は9月の調査結果をお知らせします。

- 調査日 沖合漁場 9月 第1回 内湾 (8地点) 9月 3日 内房 (7地点) 9月 1日
- 9月 第2回 内湾 (8地点) 9月16日 内房 (7地点) 9月17日
- 貝類漁場内 木更津北部地区 9月10日
- 富津地区 9月16日

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- 8月22日に発出したシャットネラ属に関する警報 (R7 No.1-1) は、内湾・内房の全域で注意を必要とする基準 (1細胞/mL) を下回るまで継続します。

・9月 3日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度は羽田沖の56.20細胞/mL
・9月 9日	(沖合漁場) 船橋・内湾北部中央・羽田沖・盤洲・アクア南・富津	最高密度は羽田沖・盤洲の0.90細胞/mL
・9月16日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度はアクア北の30.00細胞/mL
・9月26日	(沖合漁場) 船橋・千葉灯標・アクア北・盤洲・富津	最高密度は千葉灯標の17.80細胞/mL
・9月30日	(沖合漁場) 船橋	密度は1.20細胞/mL

- 水産総合研究センターによる調査で、カレニア属が警戒を必要とする基準 (1,000 細胞/mL) を上回る密度で確認されたため、9月16日に警報 (R7 No.1-2) を発出しました。

・9月 3日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度は千葉灯標の34.80細胞/mL
・9月 9日	(沖合漁場) 船橋・内湾北部中央・羽田沖・盤洲・アクア南・富津	最高密度は盤洲の127.80細胞/mL
・9月16日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度はアクア北の3,520.00細胞/mL
・9月26日	(沖合漁場) 船橋・千葉灯標・アクア北・盤洲・富津	最高密度は千葉灯標の0.17細胞/mL
・9月30日	(沖合漁場) 船橋・富津	最高密度は0.20細胞/mL

※ シュードシャットネラ属は100 細胞/mL、ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL以上で注意報を発出します。

- 赤潮 (透明度1.5 m以下, pH8.5以上, 酸素飽和度150%以上) は、9月3日に沖合漁場の船橋、9月16日に沖合漁場の船橋、羽田沖及びアクア北でみられました。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・9月 3日	(沖合漁場) 羽田沖を除く内湾全域	最高密度はアクア南で1.35細胞/mL
--------	-------------------	---------------------

・9月16日	(沖合漁場) 盤洲北・盤洲南・富津	最高密度は盤洲南で0.45細胞/mL
○ 沖合漁場でディノフィシス コウデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。		
・9月 3日	(沖合漁場) 千葉灯標	密度は0.05細胞/mL
○ 沖合漁場でディノフィシス ロツンデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。		
・9月 3日	(沖合漁場) 船橋・富津を除く内湾全域	最高密度はアクア北で0.55細胞/mL

- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
○ 沖合漁場でシャットネラ属が確認されました。9月17日に浦賀水道で注意を必要とする基準を上回っていました。

・9月 1日	(沖合漁場) 浦賀水道・岩井	密度はそれぞれ0.10細胞/mL
・9月17日	(沖合漁場) 大貫・浦賀水道	最高密度は浦賀水道で1.40細胞/mL

- 沖合漁場でカレニア属が確認されました。警報及び注意を必要とする基準を下回っていますが、注視が必要です。

・9月 1日	(沖合漁場) 内房海域全域	最高密度は勝山で8.00細胞/mL
・9月17日	(沖合漁場) 内房海域全域	最高密度は浦賀水道で20.10細胞/mL

- 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・9月 1日	(沖合漁場) 富津南・大貫・浦賀水道	密度はそれぞれ0.40細胞/mL
・9月17日	(沖合漁場) 富津南・大貫・浦賀水道・保田	最高密度は富津南で0.40細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス コウデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・9月 1日	(沖合漁場) 富津南	密度は0.05細胞/mL
--------	------------	--------------

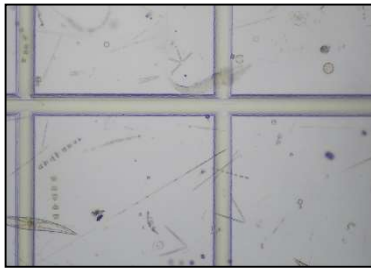
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンデータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・9月 1日	(沖合漁場) 富津南・大貫・浦賀水道	最高密度は大貫で0.20細胞/mL
・9月17日	(沖合漁場) 富津南・勝山沖	最高密度は富津南で0.10細胞/mL

- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

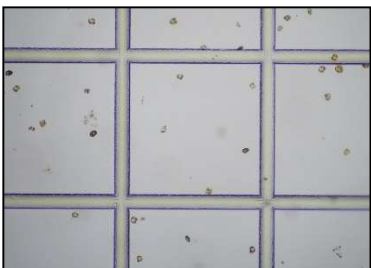
9月1日	内房	珪藻	シュードニッチア属, タラシオネマ属 など
9月3日	内湾	珪藻	シュードニッチア属, タラシオネマ属, リゾソレニア属 など
9月16日	内湾	珪藻 渦鞭毛藻	タラシオネマ属, リゾソレニア属 カレニア属 など
9月17日	内房	珪藻	タラシオネマ属, リゾソレニア属 など



シュードニッチア属など
(9月1日 富津南)



リゾソレニア属など
(9月3日 アクア南)

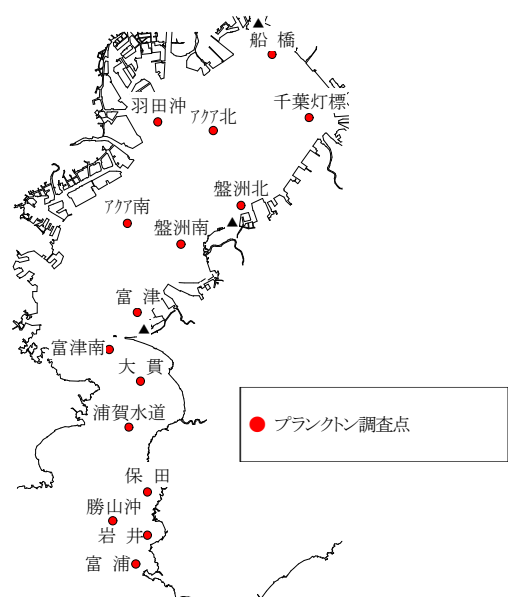


カレニア属など
(9月16日 アクア北)



タラシオネマ属など
(9月17日 保田)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091 TEL 0439-65-3071 E-mail wanken@mz.pref.chiba.lg.jp